令和6年度 学校評価

向陵高等学校

学校教育目標	1 自発的学習態度を育成する 2 健全な心身の発達を目指す 3 知性を高め敬愛の精神を高める 4 創造力を養い個性の伸長に努める 5 誠意をもって責任を果たす態度を養う
	校長の教育方針 1 基本的な生活習慣を身につけた生徒を育てる 2 自己の学力の向上に努める生徒を育てる 3 教科の勉強以外に打ち込めるものを見つけ、取り組む生徒を育てる 4 「思いやりの心」と「感謝の気持ち」を持つ生徒を育てる 5 本校独自の「チャレンジ講座」や「人間学」を通して未知なるものへの興味を広げ、豊かな感性を育む生徒を育てる
現状と課題	1 素直で人懐こいが、集団生活に悩む生徒がいる。 2 挨拶や返事が苦手な生徒がやや多い。 3 細部まで気を配り、行き届いた清掃ができる生徒はそれほど多くはない。 4 身だしなみや清潔感に気を配る意識が不十分な生徒がいる。
重点目標	1 基本的な生活習慣を身につける 2 掃除の徹底 3 元気な挨拶 4 コミュニケーション能力の向上

自己評価実施日	令和7年3月14日
学校関係者評価実施日	令和7年3月21日

学校関係者評価委員会の構成	PTA役員
---------------	-------

達成度	A	ほぼ達成	80%以上
	B	概ね達成	60%以上
	C	やや不十分	40%以上
	D	不十分	40%未満

自己評価				学校関係者評価		総括	
番号	評価項目	具体的方策	目標の達成状況	達成度	学校関係者からの意見・要望・評価等	次年度への課題と改善策	
1	遅刻をしない	時間遵守の大切さを根気強く説明し、理解を促していく。具体的にとるべき行動を提示し、遅刻の未然防止に努める。遅刻をする生徒に関しては家庭と連絡を取り合い、対処法を面談等で話し合う。授業の前後で後片付けや次の時間の準備を徹底するよう指導する。休み時間の巡回等必要に応じて行う。	全体としては登校時間は守られていた。遅刻を繰り返す生徒に関しては、少しでも改善されるよう家庭と連絡を取り合ったり面談を行ったりした。10分休みの間に次の授業の準備がなされていないことがあった。外部施設での活動の際、遅刻する生徒がいた。	B	遅刻をしないことを学校全体で守ろうとしていると思う／遅刻がないよう、引き続き家庭でも声掛けをしていきたいと思う／参観日に行った時、遅れて入ってくる生徒はいなかった／入学当初より自ら時間を意識した生活や準備ができるようになってきていると感じる／	8時30分登校の指導を継続して行っていく。時間ギリギリではなく、5分前行動など余裕をもって行動するよう指導していく。授業準備や教室移動をもう少し早くできるようにする。外部活動の際は、場所・行き方など丁寧に伝えるようにする。	
	さわやかな身だしなみ	毎日、朝・帰りのHRや授業前に服装点検を行う。見た目や清潔感に気を配る意識を持たせ、指導が必要な生徒には本人や保護者と話し合い理解を得ながら改善していく。家を出る前の点検を家庭にもお願いする。進路指導や保健指導、家庭科の授業も活用し身だしなみを整える意味の理解を深めていく。	男女共に制服・ネクタイ・リボン等の着こなしは良かった。一部の生徒に第一ボタンをつけなかったりスカートの丈が短い様子が見られ注意を促した。制服やワイシャツの襟や袖の汚れが目立つ生徒がいた。頭髮に関して清潔さを保つよう指導した生徒がいた。	A	送迎時や行事の際に多数生徒を見かけるが、正しく制服を着用し、髪型なども乱れている生徒はいないと感じた／身だしなみを整える意識付けは、学校の協力を得ながら家庭内でしつけていくものと思う／昼食後の歯みがきなど見た目だけでなく清潔感も大事だと思う／	朝のHRや授業前の服装点検を今後も続け、見つけ次第その都度指導していく。制服、ワイシャツ等汚れが目立つ生徒は、洗濯やクリーニングをするよう家庭とも連絡を取っていく。社会人としてのマナーにも関係があることを説明指導していく。	
	安心・安全な学校生活	全教員・スクールカウンセラー(SC)間で生徒の情報を共有し、組織的支援体制をつくり、話し合う場を設けて即応する。本人や家庭とコミュニケーションをとりながら生徒の特性・事情に応じて指導する。生徒が相談しやすい環境にするため、いじめアンケートや観察シートを活用する。必要に応じてチームティーチング等を行う。	生徒が相談しやすい環境づくりに心掛け、生徒の話の聞いたり生徒をサポートした。教員・SC間で情報を共有し家庭とも連絡を取り合いながら生徒を支援した。相手の気持ちを考えた行動、いい悪いの判断ができるよう根気強く指導した。	B	困りごとや何か問題があった時こまめに連絡を頂けるので、家庭でその都度子どもと話し合う機会が持っている／担任の先生だけでなく他の先生にも相談でき助かっている／生徒が安心して相談できる環境となるよう、言葉の使い方をさらに考えていってほしい／先生と定期的に面談をしており効果的だと感じて	今後も教員・SC間で連携しチームで対応していく。普段の学校生活や面談等において生徒とコミュニケーションを積極的にとり、休み時間や放課後の様子を観察して、生徒の実態を把握していく。お互いの認め合い思いやりを持って行動するよう指導していく。	
2	きれいな校舎	担当教員が細部まで行き届いた清掃を手本を示しながら指導する。委員会を活用し掃除の仕方等の説明を工夫して行う。使う人の気持ちを考え丁寧な掃除を習慣化する。時間を意識し時間内に終わらせる。責任・協働・奉仕・忍耐の心を育てる。クリーンアップ作戦を確実に実行し地域への奉仕意識を高める。	自分の清掃区域をしっかりと行い、他の区域を手伝う生徒、一生懸命働く生徒がいる反面、指示しないと動けない、誰かの為にとという気持ちの見られない生徒もいた。細部まで行き届いた清掃ができなかった。クリーンアップ活動を通して地域貢献の意識が高められた。	B	いつ行ってもゴミもなく校舎はきれいにされている／校舎周辺や駐車場はいつもきれいです／花壇にはいつもきれいな花が植えてあり、学校の雰囲気もよい／清掃だけではなく除雪も丁寧にされておらずばらばら／清掃活動を通して使う人への思いやりや仕事への責任感を養ってほしい／	各清掃区域で役割分担をし、協働の心で責任を持って活動できるようにしたい。ただやるのではなく、使う人の気持ちになり心を込めて清掃する気持ちを持たせたい。教職員も一緒に活動し、細部にこだわった清掃の仕方の手本を見せる。	
3	元気な挨拶	生徒・教職員が一緒になり笑顔で爽やかに、心を込めた挨拶ができるよう取り組んでいく。HRや授業、集会、職員室の出入り等の場面でお辞儀等の作法も含めて指導し、進路を意識した生活を心がける。生活向上委員会・PTAの挨拶運動を有効活用する。お客様来校の際はさらに積極的に挨拶する。	HRや授業の際、元気に挨拶する生徒に紛れて小声で言ったり、中には声を出さずに礼だけする生徒が見られた。職員室の出入りは大きな声を出す生徒が多い。進路活動が進むにつれて、言葉遣いや挨拶・礼儀が身につけてきた。	C	挨拶運動の際にきちんと挨拶をしてくれた。元気な子は自分から先に大きな声で挨拶してくれよかった／挨拶ができる生徒は元気で気持ちがいい。ただ挨拶しても返ってこない生徒もいた／個人差があるので全体でレベルアップしてほしい／一人でも多く笑顔で挨拶できるようになってほ	挨拶の意味、大切さを再確認し指導していく。教員一人ひとりが意識し手本を示し、積極的に笑顔で挨拶・声掛けをしていく。毎日のHRや授業での挨拶を大切にしていく。元気がない時はやり直しをする。お客様には特に意識して挨拶をする。	